



# 磐城新聞

日 一  
定 價  
零售 每份 五文  
本埠 每月 一元五角  
外埠 每月 二元  
廣告 另議  
(刊休日翌日祭曜日)

## 昭和第十年を迎ふ

曉の露を破つて幾々鳴り出した縣社の太鼓も、お城山の鐘も、驛のサイレンも、其れは之れ迄の毎朝と些かも異らぬ音響ではあるが、今朝に限つて何故か斯くもハチ切れさうな元氣な音波を漂はす事か。  
昭和第十年一月一日の朝まだき。いとも愉快に奏でられた律調整然たる進行曲こそ、蓋し羅漢大平町の否全石城の上に光被する鮮かな黎明の姿である。  
乾坤一轉、燦として豊榮昇る初日を仰ぎ拜するもの、誰か 聖天子の萬歳を壽ぎ奉り、傲然世界三強に列する國家の隆昌と九千萬同胞の幸福とを謳歌せざるものぞ。  
雖然。一度眼を轉すれば、刻下の非常時は將に來らんとする自主的國防の條約改訂と統後の國民たる農山漁民中小商工業者の上に加へられたる生活の重壓に因つて一層拍車せられ、此際國民利福の増進は、一に重大なる外交困難打開と、深刻なる内政窮迫の匡救に俟たねばならない、今にして内外その工作を怠らんか、建國三千年來の光輝ある歴史を辱しむる事無く隆々たる國威を彌が上にも宣揚する事得て望むべからざると共に、内政の逼迫は旋て町村自治の確立をすら危ぶれんとする状態にあるでは無いか。況や昨年は東北の冷害、四國、九州の旱害、近畿の風水害等天災地災相踵ぎ、之れが傷疾の恢復には國民舉つて奮勵努力して國民大衆の爲最も幸福なる更生日本を建設せねばならぬ重大の時機なるを痛感せしめられる、然り酒杯を傾けて年を忘れ屠蘇を酌んで迎春の歡喜に酔ふ時代は過ぎた、我等は自らの立場に省み各自が其の立脚の地位を認識して清新の意氣を鼓舞すべきである、徒らに非常時を慨するは當らぬ、漫然軍國の春に酔ふべきではない、内にある惱みに對しては之を排除し自力以つて更生を期すべきである、外に横はる荆棘に臨んでは之を排撃し新生面を開拓する實力を培養すべきである、自己に對する認識を確實にし其の力を合せて事に臨めば思想困難何物ぞ、經濟受難悉く、に足らず、對外問題も自ら解消するであらう、されば吾人は彼の瀟灑たる瘡痍を持って油邊に千代を壽ぐ鶴の如き悠々自適、白雲去來の心境を以て、狼狽せず懼れず徐ろに時代に善處する事を策すべきであらうと思ふ、二年頭の寸懷を叙ぶる事爾し。

一月 元旦

### 磐城新聞社

### 磐城歌壇

#### 新年に因める歌

- ◎「新年に因める歌」◎印秀歌他は佳  
◎天上の何か貴き御手より、くだし給ひし春の光かも 祈 美
  - ◎初春の朝明ひたすら祈るなり、君よ今年もさきくしませと 同
  - ◎天と地のいや果までも照り和む、めでたき春の日の光かも 同
  - ◎わが妹の着る赤き袴たもとより、匂ひ初めたる新玉の春 同
  - ◎結び上げし桃われ髪如初姿、春の鏡にはにかみ見るも 星 影 愛 子
  - ◎たまさかの松の休を炬燵して、母とラヂオを親しみて聴く 同
  - ◎酒匂ふ銅壺の白湯をすすりつ、年取招きの疲れ癒へり 同
  - ◎羽子板を抱きしましに眠る兒の、薄紅つけし口の愛らし 同
  - ◎新年の年のまぢかき店先に、松飾りして今日は休みぬ 松 本 千 秋
  - ◎新年年迎へむとわが店の、裏の庭まで掃き清めたり 同
  - ◎新玉の年迎へむとまで、店の掃除を手傳ひて居り 同
  - ◎店頭を飾る商品の山を見て、町をゆく子らの春を語れる 同
  - ◎幾山河離れる友にふるさとの、山の便を書きおくりけり 同
  - ◎海水の初日の池にたたずみて、雷ひの鶴は千代をほぐらし 赤 井 嶽 男
  - ◎池水を嘴につけては羽を濡らす、初日に白き鶴のいきかも 同
  - ◎にひ年の明けの佳き日を祝ぎつ、に、み酒たうぶれば足酔ひにけり 選 者
- 一山一
- ◎築に遠山なみは明けそめて、川向ふよりくだかけの聲 赤 井 嶽 男
  - ◎山低きこの村里の遠近の、藁家に紅く春祝ふ旅 同
  - ◎若水のすがし心にま向へば、けさ新なりたるなる山 萩 原 た け
  - ◎朝ばらけ瑠璃大空にかがよひて、いのち脈搏つむかづ山山 同
  - ◎山里の祭も散れて歸り來る、かれ野の道に夕日照りはゆ 松 本 千 秋
  - ◎南の湯の縁やまに苔雲、動かぬまに夕つぎにけり 同
  - ◎悠然と鏡えてみゆる湯の縁に、春日てりつゝ霞ながるゝ 同
  - ◎あかときの聲朝々と響きて、この山里よ年立ちにけり 鈴 木 光 治
  - ◎山芹の味のうまさよ休みの、障子明るく朝餉するなり 同
  - ◎高山の嶺には雪の白けれど、裙裾寒立ち霞ひく見ゆ 星 影 愛 子
  - ◎病癒えし友の便のは、笑まし「山ので湯に春をたしむ」と 藤 野 冷 子
  - ◎窓越しの谷川瀬山はむらさきの、春の霞に包まれてゐる 同
  - ◎おしつまつりてみ雪いたれる湯の縁の、山肌白く日のかげろへり 選 者

豊間村役場  
村長 鈴木藤太郎  
助役 山野邊茂五郎  
収入役 菊地晴雄  
書記 鈴木 肇  
鈴木 一  
鎌谷 一衛  
橋本 千二

高久病院長  
高久 忠  
(イロハ順)  
星 恒 明  
電話四七一番  
大和田 節司  
電話一七〇番  
大 森 勇  
電話二五八番  
大河内 一郎  
電話五八八番  
金 成 忠 義  
電話三五八番  
矢 吹 大輔  
電話二六六番  
松 村 鐵 郎  
電話一〇七番  
沼平 次郎  
電話五〇七番  
酒 井 國三郎  
電話五五五番  
白 土 徳 彌  
電話二七九番  
志 賀 正 水  
電話二七九番  
鈴木 亮  
電話四三八番

高久村役場  
村長 鈴木喜太郎  
助役 本馬 武  
収入役 鈴木正一  
書記 薬谷 明  
猪狩 梅吉  
猪狩 久男

谷口樓  
電話二番  
平町新田町  
料 君の家  
平町新田町  
平町新田町  
谷屋吳服店  
電話五五九  
井坂産科婦醫院  
電話五五九  
實川醫院  
實川彌太郎  
平町電話二七〇番  
鈴木洋服店  
鈴木 謙造

石城郡組合銀行  
福島炭鑛株式會社  
専務取締役 菊地徳太郎

釜屋商店  
諸橋 久太郎  
諸橋 元三郎

磐城炭株式鑛會社  
所長 菅原萬治郎  
副所長 濱崎善三郎

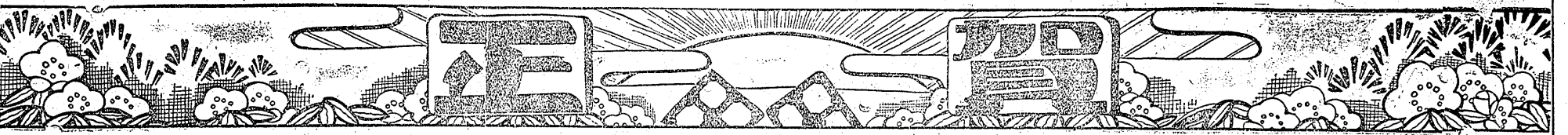
入山探炭株式會社  
所長 吉田宗雄  
副所長 大貫經次

不動澤炭鑛  
銘酒福美 四家又一  
内郷村高坂 電話四番

平磐城片倉製糸株式會社  
所長 山本 薫  
入立國勞働自治會  
會長 松繁 庄一

小原良武  
福島縣平町三丁目  
七十七銀行平支店

松本徳一  
平 窪 村  
小田炭鑛株式會社  
社長 萩原 申八  
宮城銀行  
専務取締役 山田勇太郎  
仙臺市元寺小路  
佐藤三平  
石郡城内 野村  
杉山炭鑛  
鑛主 杉山今朝吉  
福島縣石城郡内郷村  
川瀬炭鑛々主  
川瀬 幸治  
福島縣石城郡赤井村  
平看護婦會 清野 キヨ



新年祝詞

平町長 青沼鋒太郎

恭しく惟みるに萬世一系のものがあるものであります。皇統運維として寶祚の彌榮...

勤め人の當り年

日曜五十二回、旗日十三回。今年を皇紀二千五百九十五年...

進展に伴ふ就學児童増加の趨勢に依り前年來の懸案たる平町は町政諸般に亘り逐年...

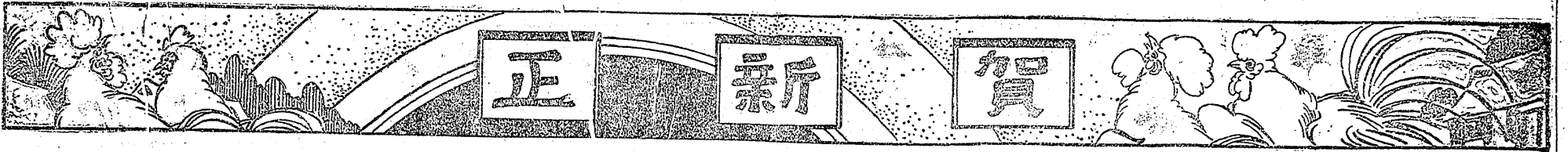
除けば實數二百九十八日。今年も休給生活者の當り年...

江戶情緒豊かに。恒例梯子乗り。恒例梯子乗り、白路の草履...

池邊鶴。湯本町 佐波古直貞。廣澤の池の汀に影よせて...

新年雜詠。伊達森里。静かにも今朝は晴れたお元日...

Directory of local businesses and organizations including 平消防組, 伊勢屋商店, 山田忠太郎, 佐藤木工所, 阿部藥舖, 渡邊内科醫院, 好間軌道株式會社, 西村屋藥局, 青木寫真館, 酒井伴城, 平料理屋組合, 石川亭, 御料理, 八千代, 新妻幸之助, 明雲堂眼科醫院, 關内藥局, 佐藤榮吉, 大塚運動部, 高崎松三, 中野洋品店, 水野藥局, 小野伊佐治, 平三業, 海老原クハニング店, 高久晚霞, 片寄耿二, 白木英尾, 土木請負, 加藤組東北出張所.



元旦試筆

白雲草子

ゆびひんきよくの切に 危ふく間に合はせるやうに 賀状を書き終へて...

誰しもそうだが、この正月の休みだけは、なんといつても心なごやかに...

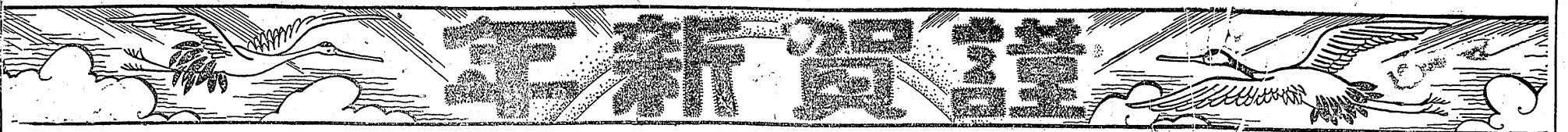


猪狩り 島田忠夫

赤てから 春の歌へ 童謡

Divination section (占) featuring a hexagram diagram and text for '猪狩り' and '赤てから'.

Large directory section listing various businesses, organizations, and individuals with their names and contact information.



茨城縣多賀郡南中郷村  
南中郷炭礦  
礦主 尾藤 憲裕

古河業好間鑛業所  
所長 下野 十朗  
係長 安孫子 虎雄

前田 醫院  
前田 清美  
電話 植田 二二四番

貴族院議員 金 成 通  
衆議院議員 比 佐 昌 平  
衆議院議員 佐藤 庄太郎  
衆議院議員 鈴木 辰三郎

植田水力電氣株式會社  
社長 金 成 通

安島 重三郎

二本松電氣株式會社  
小 名 濱 支店

戸部炭鑛 小野田鑛業所  
戸 部 光 衛

大倉 芳の目炭鑛  
鑛主 川波 芳太郎  
茨城縣多賀郡南中郷村

小田 吉治

鈴木自動車部  
鈴木 善太郎

鈴木 齒科醫院  
鈴木 正男

鈴木 齒科醫院  
鈴木 喜政

日本ゼネラルモーター株式會社、シボレー  
ホンダ、アーク自動車特約販賣店、G.M.C.  
株式會社 福島モーター商會平  
出張所 平町三丁目 電話一八七  
本社福島市 支店山形市

平藝妓屋組合

木建築 請負業組合

植田町長

古川 傳一

堀江工業株式會社  
社長 長江 口忠一  
專務取締役 鈴木 唯治

川村 源一  
東京市京橋區銀座西六丁目二番地  
電話 銀座 四三〇二番

湯 本 町  
旅館 松 柏 館  
比 佐 榮 一

山崎合名會社  
電話 本店二七番 營業部一〇番

平庶民 金庫

水野 虎三郎

江名町長 河野 嘉藏  
助役 作野 一  
收入役 吉田 茂左衛門

石城郡酒造組合 小濱名支店  
支部長 小 草 良太郎  
小 野 晋平  
近 藤 定次  
上 原 彌平  
長 久 義治  
佐 原 彰治

木村 清治

矢吹 豐

豐間大敷事務所

赤堀 信平  
東京市池野町西大原六九二  
電話 王子 一三六三番

石城郡内各學校長會

平時計商組合

福島縣會議員 (イハハ順)  
井上 茂作  
石川 德壽  
萩原 義雄  
野崎 滿藏

岡山寫真館  
電話 六一五番

木村外科醫院  
木村 淳

昭和 タクシー  
電話 三三三・六五九

三井 タクシー  
電話 六八五番

上原家政婦會  
上原 通子  
電話 電話二二三番

早川材木店  
電話 五八四番  
平町 田町五

磐城家庭婦人會  
駒井 ヒデ  
電話 三九九(呼出)

大野寫真館  
平町 仲町七二  
電話 五四五番

鈴木染工場  
平町 南町  
電話 四九二番

鶴屋商店  
福島縣平町四丁目  
電話 百四十番

丸玉合名會社  
代表 丸玉 彌  
社員 一〇一(番米穀部)  
電話 (四五三番海造部)

藤寅蒲鉾店  
電話 四一番

小松洋服店  
電話 呼出 四八五番

坂本紙店  
平町 一丁目  
電話 十八番

高橋活版所  
平町 田町大通り  
高橋 勝吉

平町旅館組合

小林 清吉

星製藥磐城配給所  
電話 四二九番

自動車協會平支部

古山電氣商會  
平町 二丁目 警察署通り  
電話 四八二番

關内正一

金成國雅

湯本信用無盡株式會社

磐城海岸軌道株式會社  
社長 草野 良太郎  
支店 丸 猛

磐城工業株式會社  
小 野 伊太郎

福好工業合資會社  
強口 唯七郎  
電話 二八二番

高橋 龜松  
平町 白銀町

井上貞治郎  
磐城建物株式會社  
取締役 支配人

小野 晋平

千葉 彦治

阿部政右衛門

青沼 鋒太郎  
平町 長

百澤商店  
平町 四丁目  
電話 一二番

御料理 玉よし  
本館通電話 四二六番

大 貞  
電話 四一三

廣瀨支店  
電話 五四番

平砂糖商組合

渡邊貫一  
平町 一丁目  
電話 四四一(番)

熊謙次郎  
平町 仲町電話 一九三番

鈴木齒科醫院  
平町 南町七五  
電話 二一二番

木村電氣會  
平町 新川町  
内外電氣工事請負

平町 西洋料理合組

平町 榮太郎

石城郡内郷村小島  
薄硝子製塲所  
電話 源次郎  
電話 平六九七番

平町 堀藥局  
電話 三三六番

大黒屋洋品店  
電話 長一六一

石城郡町村長

草野染工場  
平町 田町電話 三三八番

御料理 末廣  
平町 電話 四二一

住吉屋本店  
電話 一五九番

大谷時計病院  
平町 電話 一九番

大一屋商店  
明治生命保險代理店 電話 一三番  
明治火災保險平南代理店

久野 ひさ

ハシモトヤ系店  
各種糸類 合名會社  
手織材料 平町 田町 電話 十四番

上田外科醫院  
平町 南町電話 二九番

前田 力  
天從堂 表具師  
福島縣石城郡平町大町二三

平材木商業組合

多田井笑次郎

平青果商組合

平運輸株式會社

好間村會議員  
役場吏員一同

關彰商店平支店  
平町 一丁目 電話 六一番

平營業所

東部電力株式會社

喪中年賀欠禮  
長 唄 柁屋 十茂代  
舞 踊 花柳 德三郎